

(第6号様式)

## 座間市立東原小学校 学校運営協議会 会議録

会議の名称	第 2 回 東原小学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和 7 年 9 月 24 日 (水)		
開 催 時 間	15時 ~ 16時30分		
開 催 場 所	東原小学校 会議室		
議 長	総括教諭 石田里香		
出 席 者	学校運営協議会委員 10名, 校長, 教頭, 教務, 総括教諭事務主管, 教諭4名		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0 名
会 議 の 内 容			
【議 題】①夏休みの子どもたちの様子 ②コミスク推進協議会の報告 ③全体共有（地域より, P T A (家庭) より, 放課後教室より, P T Aより, 学校より）			
1. 校長あいさつ	<p>やっと少し涼しくなってきて、子どもたちが外遊びできる日が増えてきた。猛暑が続き、登校時のあいさつも声の返しがない感じだった。応援隊の皆様には、学校周辺のクリーン作戦、学習支援（そろばん）、キャリア教育とご協力いただき、本当にありがとうございます。</p>		
2. 会長あいさつ	<p>クリーン作戦については、PTAのお母さん方の参加が増えた。熱中症に気を付けて実施しているが、熱中症指数で子どもたちが外で遊べないと判断された時には、クリーン作戦も中止にしている。かめっちファームは、夏休み中も小松田さん夫妻が手入れをしてくださっていた。</p> <p>朝食の子ども食堂をやりたいという相談を受け、昨年の学校保健委員会の取り組みに関連していくことだと思い、何か協力したいと考えている。課題は場所である。</p>		
3. 情報共有（夏休みの様子）	<p>＜地域＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>東地区文化センターで行われた「サマーアイランド」では、総人数1278人（大人も含）の入場者があり大盛況だった。おばけめいろ、昔あそび、フラフープ、皿回し食べ物（かき氷・やきそば・フランクフルトなど）、スタンプラリーなどの催し物があり、子どもたちの楽しんでいる表情がとてもよかったです。子どもボランティアに10人以上のお手伝いがあった。売り子やおばけめいろの入口やお化けになって出てきて盛り上げてくれた。6年の児童が声をかけて集めてくれたようだ。近隣の小中学生や先生の参加もあった。</li><li>東原コミセンでは、夏祭りが行われた。輪投げ、ダンボールめいろ、バルーンアート</li></ul>		

けん玉、ヨーヨーなどの催し物があり、小学生以下参加で、低学年やその保護者の参加が多かった。ダンボールめいいろは、クリーンセンターから借りたもので、資源を大切にしてダンボールで作られている。(めいいろは、年齢層に合わせたものを設置してくれる。)

#### ＜家庭＞

暑い日が多く、ほとんど家で過ごすことが多かったようだ。それでも、高学年は市民プールを利用し、ひばりのプールまで足を運んでいた。低学年は保護者の付き添いが必要なので、利用が夕方近くになってしまいういう声が聞かれた。コミセン、図書館を利用し、今どきの遊び方としてオンラインでつながって遊んでいた。地域のお祭りは、暑いけれど外に出るきっかけとなっていたようだ。

#### ＜東っこ教室＞

活動の形として、勉強が終わってから遊びという流れができている。勉強を終えた子どもたちは「ありがとうございました。」と声をかけてから出でていく姿を見て、運動をしている子どもたちが、そこで礼儀を教わっているのだろうと感じる。最近は、道帰りのタブレットを使って学習している子もいる。トラブルのある子も、タブレットは協力してやっている姿が見られる。

#### ＜コミスク推進協議会の報告＞

学校と地域が協働して取り組んでいる、厚木市のお話だった。地域の人材を学校に取り込み、地域と学校がWINWINになるようなことを実践されていた。参加した自分たちも何ができるか、できそうなことを考える時間があり、他校の人と話し合った。防災教育や、部活の地域移行等の話題もあった。

#### ＜学校＞

神奈川県教育委員会児童・生徒支援研究校

「魅力ある学校づくり」の取り組みについて説明。

新たな不登校児童を出さないことを目的とした未然防止の取組。アンケートを実施し、アンケート結果によって取組を改善する。子どもたちの声を生かした「魅力ある学校づくり」への取組。

テーマ「日常の小さな幸せを探してみよう！」・・・日常生活にある小さな幸せ（嬉しい・うれしい）を感じる力を上げていくことによって、学校生活を前向きに過ごす力を伸ばすことができ、新たな不登校児童を出さないことを目的とした未然防止の取組となるのではないか。」

「小さな幸せを感じること」のアンケートを実施しており、特になしという子を減らしていくかと思ったらと思っている。児童会目標「感謝と笑顔の虹をかがやかせよう みんながハッピー東原！」とリンクさせ、生活の中で感じた「うれしかったこと」「ハッピーになれた出来事」を東原ハッピーカードに記入し、箱に投函する。昇降口に虹の形になるように掲示していく。カードの内容は、投函前に教室で紹介する。教員の取り組みの共

有化として、子どもたちが前向きに学校生活を過ごせるよう先生方が取り組まれていることや、声かけしていること、意識していることを共有する。

東原ハッピーカードは、虹色の7色になっている。職員や地域（コミスク委員）の方々にも来校の際、楽しい、うれしい出来事をカードに記入していただき、BOXに入れていきたい。

**【配付資料】**

- ・CS だより
- ・魅力ある学校づくりの取り組みについて

次回開催予定	令和7年11月21日（水）15時00分より
--------	-----------------------